●ユニバーサルデザインフォントを使用しています。

やまと社協だより

懇談会を開催しました

NO. 262

監修 大和市社会福祉協議会 広報委員会　TEL：046-260-5633

社協HPはこちら

社会福祉協議会（社協）は、市民の参加と協力によって運営され、地域福祉の推進を図る民間の組織です。

「手をつなぐ、まちをつなぐ」懇談会を開催！

災害時の協力体制について話し合いました。

ヒアリング調査により、地震や豪雨などの自然災害が多発しているなかで、避難に困難を抱えていたり、災害の情報が入手しづらい人たちへの理解が広がっていないことが見えてきました。これを受けて、大和市社会福祉協議会では、大和市手をつなぐ育成会の内出裕子会長、加藤みどりさん、加藤さんの地元の長堀自治会の増島秀雄会長、新倉正義民生委員、髙木佳羽子民生委員と懇談の場を持ちました。

懇談会の様子

育成会内出会長　避難行動要支援者名簿に登載を希望し障がいの内容を細かく記入し届けていますが、自治会にはどのくらいの情報が伝わっていますか。

増島自治会長　市から配付される名簿には要支援者として障がい者の方のお名前や住所が登載されています。その名簿をもとに対象者の所在を地図に落とし込んでいます。名簿には数人しかなく、私の見ている範囲ではもっといらっしゃるような気がします。

育成会加藤さん　私も若い頃は、こどもも小さかったので災害時は自分で連れて避難できると思い、名簿への登載を辞退していました。自分が病気で倒れたり、地震で家具の下敷きになったらこどもを連れて逃げるのは難しく、こどもが成人したタイミングで、名簿への登載をお願いしました。

増島自治会長　コロナ禍前までは名簿を使って高齢者を中心に有事の際には対象者宅の両隣のお宅に、様子を見てもらうようにお願いしていましたが、最近再開しようという話が出ています。

育成会加藤さん　障がいのあるこどもは一人ひとり異なり、不安感が強く、困り事をうまく伝えられない子も多くいます。育成会では『自助力』を高めるため、必要な情報をまとめた小冊子や、視覚支援カードの作成を企画中です。カードを使えば『お腹が空いた』『眠い』などを指差しで伝えられます。避難所では表示を写真やイラストで示していただけると助かります。地域の方々に、こうしたこどもたちの存在と支援の必要性を知ってもらうことが大切です。

増島自治会長　防災訓練や自治会の行事に積極的に参加してもらえるような関係づくりは、自治会が進めていかなければならないと感じています。『視覚支援』は今後避難所運営に取り入れていければと思っています。避難所のスペースは限られているため、障がいのある方もない方も、まずは1週間、自助で耐えることを前提に備えていただきたい。

新倉民生委員　まず名簿に登載し、自治会・民生委員・地区社協などその他の組織と連携して一緒に災害時の体制の確認や支援を進めていくことが理想です。

増島自治会長　災害が起きたらどうなるかは、誰にも分りません。だからこそ、今から備えておくことが大切だと思います。

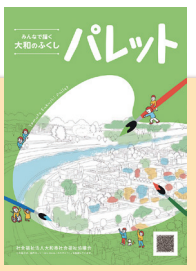
育成会内出会長　災害が起こる前から、地域とのつながりや、顔の見える関係があることが、とても大切だということですね。

大和市 手をつなぐ育成会ってどんな団体？

知的障がい・発達障がいのあるこどもとその家族などが、地域で安心して生活できるよう支援する団体です。障がいのあるこどもと暮らす親たちは、悩みも多く、孤立しがちです。だからこそ、育成会は「相談できる場所」でありたいと思い、活動しています。

大和市手をつなぐ育成会会長：内出裕子　046-215-9309

目を向けたい8つの問題



地域福祉活動計画パレットでは、「目を向けたい8つの問題」を掲げています。今回は、特に⑤に関連した懇談会を開催しました。

1. 孤独・孤立、無理解の問題
2. ひとり暮らしになったときの不安と、終活・死後の手続きの心配
3. どの年齢層にも存在する買い物困難問題
4. 仕事と住まいの確保の問題
5. 「災害弱者」の被災・避難・生活再建問題
6. こどもとその親などが抱えるさまざまな困難の問題
7. 外国ルーツの人や外国人の暮らしにくさの問題
8. よりそい、ともに成長できる支えあいの広がりの必要性（求められる多様な支援と、担い手の確保の問題）

赤い羽根共同募金運動がはじまります

10月1日→12月31日

共同募金PR大使「ムム」

皆様からお寄せいただいた寄附金は、市内の民間の社会福祉施設や福祉関係団体等が行う地域福祉活動のために配分し、活用させていただいております。

- **街頭募金**　駅頭や店頭にて、募金ボランティアが呼びかけをさせていただきます。
- **職域募金**　皆様の職場で呼びかけをさせていただきます。
- **戸別募金**　自治会のご協力のもと、各世帯に呼びかけをさせていただきます。
- **法人募金**　民生委員・児童委員のご協力により、会社や商店等へ呼びかけをさせていただきます。
- **学校募金**　小中学校や高校にご協力いただき、児童・生徒の保護者や教職員の皆様に、PRと呼びかけをさせていただきます。
- **イベント募金**　イベントで呼びかけをさせていただきます。

ご協力のほどよろしくお願いいたします。

地域福祉への参加　今、私にできること 大和市善意銀行を通じた支えあいのカタチ

善意の金品をお預かりし、それを必要な事業や人・団体等に払い出す「善意銀行」。毎月さまざまな物品を社協を通じて提供されている「有限会社エムワイハウジング」の米田宗充代表に、寄附に込める思いなどを伺いました。

――大和市社協にオムツ、お米などの日用品や食料品をお届けされたきっかけは何だったのでしょうか。

「妻がボランティアをしてみたいと言っていたことと、大和市の広報で食料募集の記事を見たことがきっかけでした。少しでも頑張っている人の助けになればと思いました。」

――どんな思いで提供を続けてきたのでしょうか。

「必要としているものを提供していき、社協を通じて頑張っている人たちの『心のよりどころ』になりたいと思い続けています。実際にコロナ禍に開催された食料支援の場に参加したときに『本当に助かります』という言葉を言っていただき、少しでも支えになれているのかなと実感させてもらえました。」

笑顔の米田代表

――預かり品の提供や寄附をしたいと考えている方へのメッセージをお願いいたします。

「寄附や預かり品の提供はとても大切なことですが、特別なことではありません。自分ができる時にできることをしてみてください。気負い過ぎずに最初の一歩をぜひ踏み出してみてください。」

★市社協では、随時、以下を募集しています！ 預かり品等についてもご相談ください。

食料品（米、レトルト食品、保存食等）、布地、着物、帯、紙オムツ類、タオル類、未使用切手、書き損じハガキ

すぐ話せる手話No.147「タウン（街）・ニュース・やまと」

【タウン】

両手の指先を斜めにつける動作を左から右へ、3回繰り返します。

【ニュース】

両手の人差し指と中指を伸ばして、横に倒して指文字の【ニ】を作ったら、両手同時に前方へ2回往復させます。

【大和】

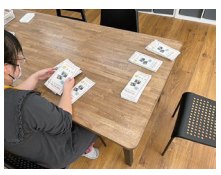
指文字「ム」を表した右手をそのまま右へ引く（大きい）。

両手拳を合わせて握る（和）。

まちの身近にある“働くところ”

障がいのある人が働く場所をおススメとともに紹介します。

法人名：株式会社 D SUNRISE
事業所名：ポルタ
住所：大和市下鶴間2777-5 コンフォール鶴間1F
TEL：046-240-9926



障がいを持つ方が自分らしく働けるように、「働くための入口」として就労の機会を提供する事業所です。見学・体験を随時募集しています。

わたしたち、応援しています

株式会社コネクトアラウンド
代表取締役　浅井 司 様

次回は「銀河 桜ヶ丘」です。

市社協会員にご加入ください！

自治会のご協力のもと…

- ○一世帯　年額300円～

市社協に直接加入する場合は…

- ○会社・企業　年額5,000円以上
- ○団体・施設　年額5,000円

※加入は任意に基づくものです。

やまと社協だより 今後の発行予定

11月28日㈮、2月27日㈮発行のタウンニュース大和版に掲載いたします。新聞折込や、公共施設、大和駅、市内郵便局や金融機関などで入手できます。郵送希望の方は、市社協へご連絡ください。

問い合わせは　市社協☎046-260-5633へ。

公式LINEのお友だち登録をよろしくお願いします！

市社協からのお知らせを配信します。お楽しみに！

イベント・講座・広報紙も♪

身近な地域福祉活動の情報も♪

New!! PR動画も♪